

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立三國小	学校	児童数	131
---------	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.72	17.25	38.03	41.16	54.01	9.29	149.65	21.24	53.45
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.71	16.54	41.34	37.68	36.87	9.89	135.67	12.07	52.59
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男子は、立ち幅とびの項目においては僅かに下回ったが、握力、上体起こし、立ち幅とびの項目以外は、体力合計点もふくめて大阪市・全国の平均を上回った。女子は、握力の項目は大阪市・全国平均とほぼ同じ結果となり、長座体前屈、20mシャトルランの項目においては、大阪市・全国の平均を上回った。しかし、それ以外の項目は大阪市の平均を上回るものもあったが、全国の平均は下回った。

児童質問項目「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」の項目において、最も肯定的に回答をした割合は、男子が82.9%、女子が53.6%であった。男子は、大阪市・全国の平均を大きく上回った。（別紙資料項目1、2を参照）

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、大阪市・全国の平均より男子が僅かに上回ったが、女子は、大きく上回る結果であった。（別紙資料項目6を参照）

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

令和4年度から取り組んでいる休み時間の講堂開放を今年度も工夫を加えて実施した。体力テストの時期には、ソフトボール投げにつながるように新聞紙で紙鉄砲を作り、スナップを聞かせた遠投動作を練習したり、運動会後は、各学年の団体演技を他の学年も体験したりして運動に親しむ機会を定期的につくった。冬は、「なわとびギネス」や「耐寒かけ足」を実施した。今年度も、委員会児童が休み時間になわとびの回数を数えたり、跳び方を教えたりした。また、「かけ足カード」を作成し、そのカードで活動の活性化を図ることができた。

取組の成果として、ソフトボール投げの男女の平均値が、昨年度より（男子18.19%、女子11.17%）向上した。また、「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」の項目においては、男女ともに89%以上が肯定的な回答をしており、昨年度の65%を大きく上回った。この他に、毎年学期ごとに行っている「生活点検週間」の成果として、女子のスマートフォン、ゲーム機、パソコン等の画面を5時間以上見ている児童数の割合が大阪市・全国の平均より大幅に下回ったり、対話を軸とした授業デザインの工夫を校内で研究していたので、友だちとの交流や協力で体育を楽しみと思う児童の割合が大阪市・全国の平均より大きく上回ったりした。（別紙資料項目3、4、5を参照）

今後の課題としては、多様な運動に親しめる機会を来年度も継続していき、運動に親しむ児童をさらに増やしていく必要がある。